

楊名時太極拳 第6回九州ブロック長崎大会

楊慧先生をお迎えして 第15回合同審査・研修会

参加者約250名。長崎県が100名強、半分以上は九州、青森、愛知、岡山、三重から参加してくださいました。
東日本大震災の犠牲者の方々に黙祷を捧げて始めた大会は、「『勿忘初心』をテーマに参加者全員が楊名時太極拳の初心に立返って過ごしてください」という長谷川くみ子長崎県支部長の挨拶のとおり、すべてのプログラムを通して、楊名時先生が残してくださいました太極拳を喜びとともに実感した一日になりました。



★画像をクリックすると大きくなります
[チラシ裏面](#)

2011年5月22日(日)

大会 時間★12:00受付 13:00~16:30
場所★[長崎県立総合体育館サブアリーナ](#)
(長崎市油木町7-1 tel.095-843-6521)
参加費★支部会員500円 一般1,000円

懇親会 時間★18:00~ 会費6,000円
場所★[長崎全日空ホテルグラバーヒル](#)
(長崎市南山手町1-18 tel.095-818-6601)◎グラ

バー園下

定員120名……申し込み順に受付。定員になり次第

閉め切ります。

5月23日(月)

朝稽古 時間★10:00~10:30 参加費500円([中国歴史博物館](#)入館料込み)

場所★[長崎孔子廟](#)(長崎市大浦町10-36 tel.095-824-4022)



●[ごあいさつ](#) ●[プログラム](#) ●[大会報告](#)

↓クリックすると各ページが開きます↓

●[写真レポート](#) ●[スタッフの感想](#)

ごあいさつ

●長崎県支部長 長谷川くみ子

昨年、楊名時太極拳は50周年という大きな節目を迎えました。51年目の今年、また新たな50年の始まりにあたり、初心に返る必要性を強く感じています。第6回目のブロック大会に向けて、九州の仲間が一同に集うことの意義を考え、心して準備してまいります。

講師として、昨秋『太極の心——楊名時の志を継いで』（二玄社 河野太通老師との共著）を出版されたばかりの慧先生にお越しいただきます。老師との対話の中で、師家が何を残してくださったのか、私ども弟子が認識しておかなければならないとても大切なお話をなさっています。同書でも語られている絵本作家・長谷川集平との対談、また師家の演舞上映も予定しています。

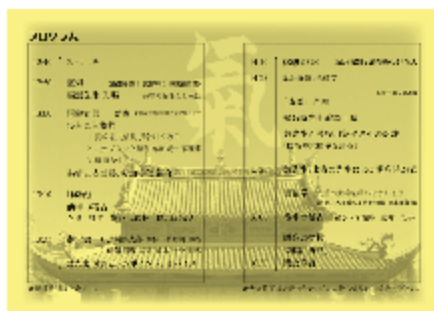
龍馬伝で沸いた昨年の長崎でしたが、近代史においても重要な役目を果たした九州人の心をひとつにして、「あいおおく」実り豊かな大会としたいと心より願っています。全国の同学のみなさまのご参加とお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。



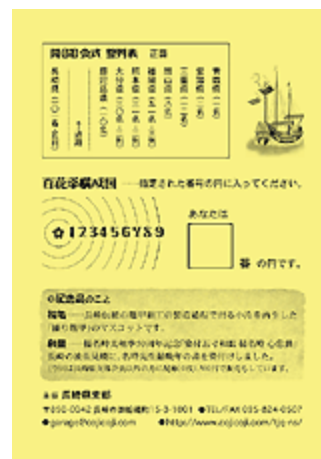
プログラム クリックすると大きな画像が出ます。



表紙



p.2-3



裏表紙

[裏表紙、記念品の「和血」の詳細はこちら](#)

大会報告

●長谷川くみ子

心配された雨も降らず、曇時々晴れ。南国の強い陽射しをほど良く包む心地よい陽気のなか、スタッフは3時間前からテキパキと綿密な準備で備えました。

長崎104名、県外149名は九州内に留まらず、愛知、三重、岡山、遠く青森からも参加して下さいました。今大会は「勿忘初心」をテーマとし、師家の志を継ぐ慧先生をお迎えしました。

参加者が整列したところで、慧先生と来賓の今井治先生、土井てる子先生、市園禮子先生を拍手でお迎え、前半の稽古をつけてくださいました。

審査会では、長崎の初伝から準師範までの18名、続いて福岡、熊本、大分から師範13名が、大勢の仲間に見守られ、静寂のなか素晴らしい演舞を終え、慧先生から「合格」をい



いただきました。



休憩後、歓迎の意を込めて支部のテーマソング「遠雷」を合唱しました。

会場は暗転、名時先生の24式上映です。大きなスクリーンに映し出された懐かしいお姿は、私たちの原点、楊名時太極拳との新鮮な出会いがそれぞれに蘇り「初心」に

戻ったひと時となりました。

対談・慧先生と長谷川集平「楊名時太極拳を語る」では、映画『ウッドストック』の太極拳シーンなどを観ながら、その時代性やカウンターカルチャーとしての役割などにも言及し、新たな視点から楊名時太極拳を考えるヒントとなりました。

来賓の4先生の記念演舞「不老拳」は、目と心に刻みたい収穫的一幕でした。

初の試み「九重の百花拳」では、250余名が心ひとつに大輪の「和」の花を咲かせました。終了の挨拶では、三重県の平賀清美さんの柔らかな語り口は師家を思い起こさせ、にこやかに大会を締めくくりました。



同日18:00から全日空ホテルグラバーヒルでの懇親会は参加者100名、中国式の干支名をつけた12のテーブルに、支部長、各県が均等に混ざるように席くじを工夫して、文字通り懇親の場になりました。各県の興味深い話あり、未完成ながら長谷川集平作・楊名時太極拳の歌あり、最後は鹿児島県支部長持参の「おはら節」で全員輪になって踊りあり、の賑やかな会となりました。



方々に心から感謝を申し上げます。◆◆◆

翌朝、孔子廟
の東西の回廊
いっぱい72賢
人ならぬ73拳人
(?)が立ち並
び、雨に濡れる
大成殿を仰ぎな
がらの稽古は、
忘れえぬ思い出
となりました。

参加してくだ
さったすべての